

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-06
事務事業名	塵芥収集事業		
事業開始年度	根拠法令・要綱等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	ごみ処理	職・氏名
			電話
			環境課
			衛生係長・森本和成
			64-1821

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	備前市内で一般廃棄物を排出する市民
目的 (何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
行政活動 (どのような方法で)	ごみ分別区分ごとに収集日を定め、塵芥収集車によりごみを収集する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	ごみの資源化・減量化を図ることにより、可燃ごみの収集量を削減する。

事業の実績							
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	ごみ収集量	t		10,654	9,699	8,980	
	可燃ごみ収集量	t		9,069	8,290	7,767	
	不燃ごみ収集量	t		1,116	1,017	888	
	資源ごみ収集量	t		469	392	325	
	ごみ収集日数	日		256	255	255	
	事業費	直接事業費	千円		83,976	84,315	80,108
		人件費	千円		116,390	113,318	118,984
		事業費計			200,366	197,633	199,092
		財源	国県支出金			0	0
受益者負担			千円		1,493	1,279	1811
市一般財源				0	0	0	
必要人員	人		23.25	20.75	21.28		
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	ごみ収集量	t		10,654	9,699	8,980	
	結果指標量	t		-	91.0%	92.6%	
	対前年比	%		200,366,000	197,633,000	199,092,000	
	活動コスト	円		16,630	17,832	22,183	
	単位当たりコスト	円					
	ごみ収集日数	日		256	255	255	
結果指標量	日		-	99.6%	100.0%		
対前年比	%		200,366,000	197,633,000	199,092,000		
活動コスト	円		782,679	775,031	781,219		
単位当たりコスト	円						

事業の成果			
成果指標名	1人1日あたり可燃ごみ排出量 (g)	式又は説明	可燃ごみ収集量 (g) / (人口 * 365日)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	679	628	598
対前年比		92.49%	95.22%
到達目標値	500	到達目標年度	平成25年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	妥当性評価 <A~E>	B
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識	関係法令に基づき、効率的な収集に努めているが、容器包装リサイクル法等に基づく分別の細分化を検討し、実施する必要がある。平成18年10月からびんのコンテナ回収を開始し、一定の成果を収めている。また、平成20年4月からは、古紙の分別収集を開始しており、さらに、びんのコンテナ回収の拡充を図る。
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価 <A~E>	D
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	ごみの有料化によりごみの減量化・資源化は進んできている。ごみの分別数を増やし、さらなるごみの減量化・資源化を図っていく必要がある。同時に、ごみの集積所の集約についても検討する必要がある。またごみ袋の販売収入によりごみ処理費用の確保に繋がっている。
有効性の評価	手 段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	有効性評価 <A~E>	B
	職 場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
市民参画度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E>	B
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況			
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	説明	ごみの細分化による分別収集の拡大が急務である。限られた人員の中で業務を遂行するために、さらなる業務の効率化を図る必要がある。
目標値	結果指標量	可燃ごみ量の減少	結果指標量
	成果指標量		資源ごみ量の増加
			580

総合評価		評価区分 <A~E>	B
循環型社会の形成に向け、分別収集の拡充を目指すことが求められている。さらに、分別数の増加と収集の効率化という相反する要素をバランスよく取り入れる必要がある。平成18年度については、びんのコンテナ回収を開始することができ一定の成果を収めている。今後のさらなる拡充に向けては、収集日程の再編成等を行わなければ、現有人員・車輛の中では実現不可能である。		妥当性	

平成21年度以降の方向性			
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	ごみ集積所の集約化	随時	ごみ収集の効率化・経費節減